

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2021年 7～9月期の景況 / 2021年 10～12月期の見通

宇部市内における中小企業の業況は、一部に持ち直しの動き。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2021年7～9月期の実績と2021年10～12月期の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から▲0.2%の悪化となった。業種別では、サービス業は▲34.5%から▲28.0%へ、建設業は▲24.1%から17.9%へと回復した。また、卸売業は4.8%から▲15.0%へと大幅に悪化、製造業は▲18.2%から▲19.0%へと悪化した。なお、小売業は前回と同様の▲5.3%となった。

来期の新規設備投資については、今期より3.5%減少する見込みである。

経営上の問題点については、建設業は21期連続で「従業員の確保難」が1位となった。なお、製造業では8期連続で「需要の停滞」が1位となり、他業種でも上位を占めている。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

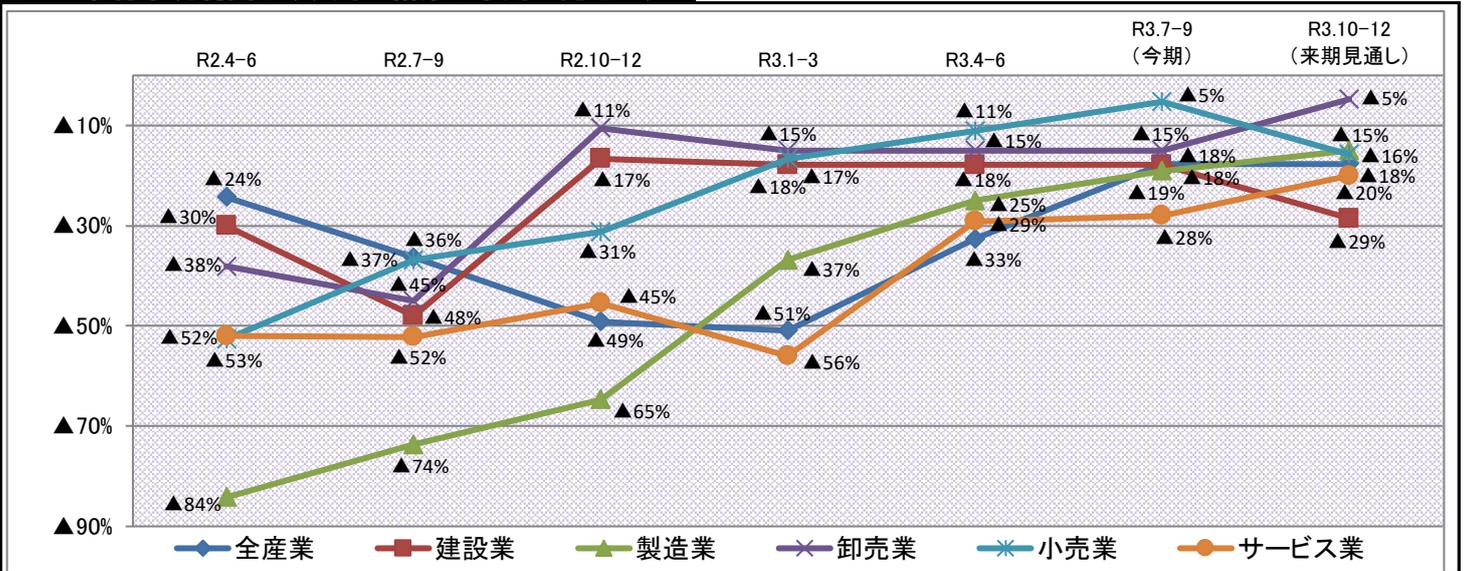
DATA

- 調査期間: 令和3年9月14日～9月24日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業135社
- 有効回答企業数: 116社(85.9%)

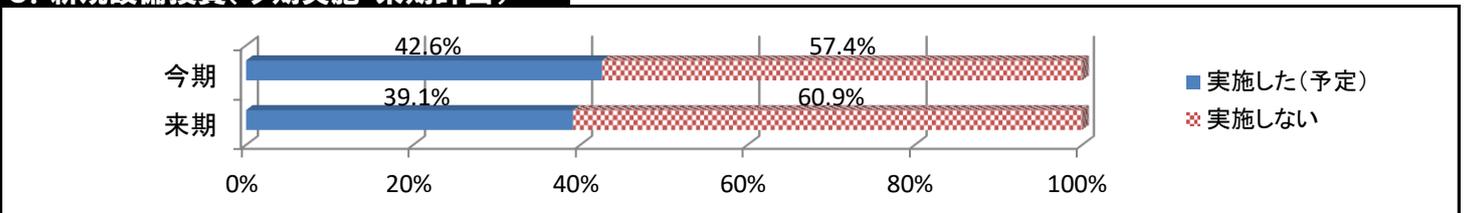
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲17.7%	▲0.2%	▲19.5%	▲13.6%	▲13.3%	▲3.3%	▲22.1%	▲13.0%	2.7%	3.5%
建設業	▲17.9%	6.3%	▲25.0%	12.9%	▲14.3%	▲7.4%	▲28.6%	▲11.3%	3.6%	3.6%
製造業	▲19.0%	▲0.9%	▲38.1%	▲33.5%	▲30.0%	3.3%	▲25.0%	▲15.5%	9.5%	5.0%
卸売業	▲15.0%	▲19.8%	▲30.0%	▲30.0%	10.0%	5.2%	▲30.0%	▲25.2%	20.0%	1.0%
小売業	▲5.3%	0.0%	5.0%	▲35.0%	▲5.0%	▲10.0%	▲10.0%	▲10.0%	0.0%	5.6%
サービス業	▲28.0%	6.5%	▲8.3%	2.4%	▲24.0%	▲6.8%	▲16.0%	▲5.7%	▲16.0%	1.2%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
1位	従業員の確保難	23.4%	需要の停滞	23.7%	需要の停滞	19.3%	消費者ニーズの変化への対応	17.9%	需要の停滞	19.4%
2位	官公需要の停滞	16.9%	原材料価格の上昇	18.6%	従業員の確保難	17.5%	需要の停滞	16.1%	利用者ニーズの変化への対応	19.4%
3位	民間需要の停滞	14.3%	生産設備の不足・老朽化	13.6%	仕入単価の上昇	15.8%	仕入単価の上昇	10.7%	従業員の確保難	9.7%
4位	下請業者の確保難	13.0%	人件費の増加	8.5%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	12.3%	従業員の確保難	8.9%	熟練従業員の確保難	8.1%